

令和元年度協働まちづくり推進助成事業の実施状況について

1 協働まちづくり推進助成事業について

多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数の団体が連携し取り組む事業について、審査の上、事業費の助成と併せて、コンサルティングや必要な専門家の派遣などの支援を行う。平成29年度に実施したモデル事業の実施状況を踏まえ、平成30年度に本格運用を開始した。

2 応募状況

- (1) 募集期間 平成31年 2月12日から 2月28日まで
- (2) 募集事業 複数の団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造に取り組み、団体単独ではなし得なかった新たな機能や価値の創出を図る事業
- (3) 応募件数 平成30年度からの継続事業を含めて 5 件
＜応募団体の内訳＞
- | | |
|----------|----------------------------|
| 町内会等地域団体 | ： 3 団体 |
| 任意団体 | ： 4 団体 |
| NPO法人 | ： 0 団体 |
| 大学 | ： 0 団体 |
| その他法人 | ： 4 団体（株式会社、一般社団法人、社会福祉法人） |

3 採択事業の概要

学識経験者等により構成される審査会議での評価を踏まえ、4事業を採択した。

※うち1事業について実施団体から事業継続が困難なため辞退の申し出があり、現在のところ裏面のとおり3事業を実施している。

4 今後の予定

各助成事業者が、サポートチーム（※）や専門家による支援を継続的に受けながら、事業を実施していく。また、下記のとおり公開による報告会を実施予定。

○中間報告会（兼情報交換会）…令和元年11月～12月頃実施予定

○実施報告会 …令和2年6月～7月頃実施予定

※サポートチーム

仙台市内の中間支援組織等5団体により構成される。助成対象事業ごとに担当を割り当て、団体が事業を実施する上での困りごとや悩みごとに対し、随時助言等を行う。

協働まちづくり推進助成事業 令和元年度実施事業一覧

※助成金額、総事業費はいずれも予定額

<事業名>	【継続】ハーブ栽培を核に 地域包括ケアシステムのスムーズな構築を目指して
<団体名>	八木山連合町内会、八木山地区社会福祉協議会、日本赤十字八木山地区奉仕団
<事業概要>	ハーブ栽培等をツールとして、地域住民同士のふれあいの場を創出し、顔と顔の見える関係性を築くことで、地域包括ケアシステムの構築を目指す。
<前年度実績>	ハーブボランティアに150名強が登録、地域の福祉事業所と連携してハーブ料理教室やサロン活動を展開
<支援>	地域包括ケアシステムの構築に向けた助言、他地域の事例紹介等
<サポートチーム担当>	(一社) パーソナルサポートセンター

●助成金額 2,520,000円 / 総事業費 2,800,000円

<事業名>	【新規】関山街道・さくらプロジェクト
<団体名>	関山街道フォーラム協議会、愛子宿めぐり実行委員会
<事業概要>	桜を切り口に関山街道沿いの取り組みをつなぐとともに、桜の写真コンテストの実施やフォーラムの開催等により地域の魅力を発信することで、観光客や交流人口の増加を目指す。
<支援>	事業目的や方向性の整理、ネットワークづくりについての助言等
<サポートチーム担当>	(特非) 都市デザインワークス

●助成金額 1,125,000円 / 総事業費 1,250,000円

<事業名>	【新規】子どもの夢をかなえるプロジェクト (ゆめのおむすび)
<団体名>	国分町駆け込み寺、一般社団法人SC.FIELD
<事業概要>	学校や社会の中で生きづらさを感じ、周囲の理解と支援を必要としている子どもたちに対して、社会に馴染むための環境を定期的に提供し、子どもたちが自分の夢や目標をかなえるためのサポートを行う。
<支援>	定期的に利用できる居場所の提供とその周知を行うにあたっての助言等
<サポートチーム担当>	(特非) 杜の伝言板ゆるる

●助成金額 2,050,000円 / 総事業費 2,344,500円